

□目次

1. 寄稿①「環境的に持続可能な交通を目指して」(第13回)

●「“環境的に持続可能な交通”を目指して」

【環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会委員 堂前 康】

2. 寄稿②「地方から全国に向けた情報発信！」(第13回)

●「秦野市における環境的に持続可能な交通(EST)モデル事業の概要」

【秦野市都市部都市計画課交通企画班主任主事 茂田康孝】

3. ニュース／トピック

●ディーゼル車の排出ガス検査を高度化します【国土交通省】

●「東京地域における道路交通環境対策について」のとりまとめについて

【警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省】

●富士市・富士宮市をCNG車普及促進モデル地域として指定【国土交通省】

●大型トラックのスピードリミッターの効果・影響評価の結果【国土交通省】

●高速道路料金割引社会実験の実施について【札幌市】

●インターネットによる駐車場案内がはじまりました【札幌市】

●流山グリーンバス利用状況【流山市】

●のとじま水族館パーク&バスライドの実施について【石川県】

●トヨタ自動車、プラグインハイブリッド車の国土交通大臣認定を取得【トヨタ自動車】

●プリウスが「2015年度燃費基準」を達成【トヨタ自動車】

●首都圏のカーシェアリングを100拠点・200台体制へ【オリックス自動車】

●横浜型環境ポイント社会実験inセンター南今秋スタート【東京急行電鉄】

●日曜・祝日の首都高は利用距離に応じて3割～1割引【首都高速道路】

●集配車両にて各種バイオ燃料の活用を開始【佐川急便】

●「宅配便エコポイント制度」の実施に向けた実証実験に参加【佐川急便】

●「運輸・交通と環境2007年版」を発行【交通エコロジー・モビリティ財団】

4. イベント情報

●2007年夏季大会 —GIA ダイアログ—

●平成19年度「社会人のためのITS 専門講座」

●イノベーションによる産業競争力強化への挑戦

●横浜カーフリーデー2007

●地球環境大学「脱！温暖化生活」－交通編「クルマで移動はもったいない！エコ交通の秘訣」

5. その他

●交通エコロジー・モビリティ財団のシンボルマーク・イメージキャラクター募集、〆切り迫る！

●記事募集中！

---

## 1. 寄稿①「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 13 回)

●「“環境的に持続可能な交通”を目指して」

【環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会委員 堂前康】

(警察庁交通局交通規制課課長補佐)

人々の暮らしに自動車交通手段として定着するにつれて、通学、仕事及びレジャーのための活動範囲が格段に広がってきています。それに伴い、都市部の交通渋滞や交通事故等のニュースが毎日のように見られます。また、近年では、地球温暖化問題も同様となっており、環境に関する関心の高まりが伺われます。

ESTで示されている施策のメニューは多様であり、それぞれの地域や住民の行動様式等の特徴、公共交通機関状況等を踏まえて施策を選択することが可能であることから、それぞれの地域の実情を踏まえて検討していただく「環境的に持続可能な交通」の在り方等についての新たな発見があるのではないかと思います。

そのうち公共交通機関の活用をはじめとする自動車交通の総量抑制方策については、ESTの観点からも、大変重要であり、かつ、魅力的なものですが、利用するのは住民ですから、その方策の検討に当たっては、現在の住民の活動範囲、利用する交通手段及び道路状況等について十分な調査を行うなど広い視野を持って、住民の利用しやすいものとするよう配慮する必要があるのではないかと考えています。

今後も、より多くの地域で、ESTの施策が効果的に実施され、環境的にやさしい交通体系等を構築するとともに、住民にとってもよりよいものとなることを期待しています。

## 2. 寄稿②「地方から全国に向けた情報発信！」(第 13 回)

●「秦野市における環境的に持続可能な交通(EST)モデル事業の概要」

【秦野市都市部都市計画課交通企画班主任主事 茂田康孝】

秦野市では、平成17年3月に「秦野市交通需要マネジメント(TDM)実施計画」を策定し、平成17年度から5カ年計画で11施策によって、公共交通の利用を促進し自家用自動車に過度に依存しないまちづくり・交通体系を構築することを目標として、CO2削減に努めています。

本市は、平成17年度にESTモデル事業実施地域に選定され、事業初年度である平成

18年度は、2回の「ノーマイカーデー」の実施、「大規模イベント時のパーク&バスライド」の実施、公共交通活性化総合プログラムによる「企業共同バスの運行」といった施策を実施したことによって、約27.35tのCO<sub>2</sub>を削減いたしました。特定の日には、対平成17年度比0.5%削減の目標を達成できたものの、年間排出量では0.06%相当の削減でした。

また、「TDM教育(小学校3校、事業所1箇所)」の実施、環境省関東地方環境事務所による「市内事業所マイカー通勤者の意見交換会」、「生徒と企業の交流フォーラム」等を開催することでEST事業の普及啓発をいたしました。

平成19年度には、平成18年度から実施してきた路線バスのPTPS導入が完了するため、その効果の検証とバス利用転換への誘導を行うとともに、事業実施の中間年にあたる本年は、事業の本格実施や定着に向けた改善を行いながら、継続的に実施していくための検討をしていきたいと考えています。

---

### 3. ニュース／トピック

#### ●ディーゼル車の排出ガス検査を高度化します【国土交通省】

国土交通省は、ディーゼル車の排出ガス検査として、現在の黒煙測定器による黒煙検査に替えて、SOF成分まで高い精度で測定することが可能である「オパシメータ」を使用した検査を導入することとし、「道路運送車両の保安基準の細目を定める告示」等を改正しました。

[http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/09/090731\\_2.html](http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/09/090731_2.html)

#### ●「東京地域における道路交通環境対策について」のとりまとめについて

【警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省】

道路交通環境対策関係省庁連絡会議(警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省)は、今般、東京地域の大气汚染状況をめぐる最近の情勢等を踏まえ、道路交通環境対策を取りまとめました。

[http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/06/060803\\_.html](http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/06/060803_.html)

#### ●富士市・富士宮市をCNG車普及促進モデル地域として指定【国土交通省】

国土交通省は、「CNG車普及促進モデル事業」の実施地域として、8月13日付で新たに静岡県富士市・富士宮市を指定しました。富士市・富士宮市では、地方公共団体を中心とする協議会が主体となり、本年度中にCNGスタンドを1箇所新設し、平成21年度までに51台のCNG車の導入を計画しております。また、富士市・富士宮市では、CNG車の更なる普及を促進するため、今後、CNG車の展示・説明会の開催を予定しております。

[http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/09/090813\\_.html](http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/09/090813_.html)

●大型トラックのスピードリミッターの効果・影響評価の結果【国土交通省】

国土交通省では、高速道路における大型トラックの事故防止を目的として、平成15年9月1日より義務付けられました速度抑制装置(スピードリミッター)について、その効果・影響評価を行ってきました。その結果、一時期、インターチェンジから流入する車両と大型トラックとの事故が増加する傾向が見られたものの、交通事故及び二酸化炭素の排出量について一定の低減効果があると推測されました。

[http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/09/090821\\_.html](http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/09/090821_.html)

●高速道路料金割引社会実験の実施について【札幌市】

札幌都市圏では、一般道路の交通混雑などの交通課題が見受けられることから、「北海道高速道路料金社会実験協議会」を設立し、国道に並行する高速道路を有効活用し、国道をはじめとした一般道路の交通課題を解消・緩和するための料金割引導入に向けた社会実験を実施します。

<http://www.city.sapporo.jp/sogokotsu/kousoku/index.html>

●インターネットによる駐車場案内がはじまりました【札幌市】

札幌市では、インターネットを活用して都心部駐車場の混雑状況などをお知らせする新しい駐車場案内システムが、8月10日(金)からスタートしました。携帯電話やパソコンで専用のサイトにアクセスするか、一部のITカーナビを利用すると、駐車場の満車・空車などの混み具合のほか、駐車料金・営業時間・入庫可能な車両の大きさ・提携店舗などの様々な情報を見ることができます。

<http://www.city.sapporo.jp/sogokotsu/shisaku/tyusya/contents.html>

●流山グリーンバス利用状況【流山市】

流山市では、平成17年8月24日のつくばエクスプレスの開業と、新駅を中心とした路線バスの新設・再編により流山市内の公共交通網は格段に向上しました。路線バスが通らない地区でバスの利用が見込める地区を中心に、流山市独自の交通手段として、タウンバス(名称:「流山ぐりんバス」)を運行させています。流山ぐりんバスは、駅への交通手段を公共交通とすることにより自家用車を減らすなど、地球温暖化防止の一翼を担っています。

<http://www.city.nagareyama.chiba.jp/section/toshikei/04koutuusitu/taun/town-to-p.htm>

●のとじま水族館パーク&バスライドの実施について【石川県】

のとじま水族館では、多数の来場が予想される旧盆期間中、能登島大橋手前に臨時駐車場を設け、水族館直行の無料シャトルバスを運行することとしました。これは、日本最大級のトンネル水槽「イルカたちの楽園」のオープンなどによる、水族館来館者の増加により、5月のゴールデンウィーク時に、水族館近辺の道路において、近年に無い交通渋滞が生じた

ため、繁忙期の交通混雑緩和を目的に試験的に実施することとしたものです。

<http://www.pref.ishikawa.jp/kisya/h19/kouryuu/0809.pdf>

●トヨタ自動車、プラグインハイブリッド車の国土交通大臣認定を取得【トヨタ自動車】

トヨタ自動車は、プラグインハイブリッド車「トヨタプラグインHV」を開発し、国土交通省より大臣認定を取得しました。これはプラグインハイブリッド車の公道走行を可能とする初めての大臣認定です。今後、「トヨタプラグインHV」の国内での公道走行試験を8台の車両で実施し、EV走行の航続距離と電池容量の最適値の検証、および政府の排出ガス・燃費試験法策定に向けた各種データ収集を行うとともに、プラグインハイブリッド車の普及・電気利用促進の方策を検討していきます。

[http://www.toyota.co.jp/jp/news/07/Jul/nt07\\_037.html](http://www.toyota.co.jp/jp/news/07/Jul/nt07_037.html)

●プリウスが「2015年度燃費基準」を達成【トヨタ自動車】

トヨタ自動車のプリウスは、JC08モード走行燃費で29.6km/L [10・15モード走行燃費：35.5km/L](国土交通省審査値)を実現し、省エネ法に基づき策定された新たな燃費目標基準である「2015年度燃費基準」をいち早く達成しました。1km走行あたりのCO2排出量換算値は、JC08モード走行で78g/km [10・15モード走行：65g/km]を実現しています。

[http://www.toyota.co.jp/jp/news/07/Aug/nt07\\_044.html](http://www.toyota.co.jp/jp/news/07/Aug/nt07_044.html)

●首都圏のカーシェアリングを100拠点・200台体制へ【オリックス自動車】

オリックス自動車(東京)は、首都圏のカーシェアリング事業のステーション数を10月までに45拠点から100拠点に、車両台数を73台から200台に大幅に拡大すると発表しました。新設ステーションの一部は、財団法人東京都道路整備保全公社が運営する駐車場です(同公社が、駐車場をカーシェアリング用に利用する事業者を公募したもの)。

[http://www.orix.co.jp/auto/press/release/release\\_070810.pdf](http://www.orix.co.jp/auto/press/release/release_070810.pdf)

<http://tmpe.seesaa.net/article/47576729.html>

●横浜型環境ポイント社会実験inセンター南今秋スタート【東京急行電鉄】

マイカー利用から鉄道利用への転換など、市民の環境行動を促進して地球温暖化対策を進めるため、横浜市は東京急行電鉄と協働で、9月下旬から12月下旬まで、環境ポイントの社会実験を行います。既に多くの市民がお持ちの「交通ICカード」を活用して、駅や商業施設等に新設するタッチセンサーにICカードをタッチすることにより、市独自の「横浜環境ポイント」が貯まるなどの仕組みを整備します。

[http://www.tokyu.co.jp/contents\\_index/guide/pdf/070802.pdf](http://www.tokyu.co.jp/contents_index/guide/pdf/070802.pdf)

●日曜・祝日の首都高は利用距離に応じて3割～1割引【首都高速道路】

首都高速道路では、平成 20 年度に予定している首都高速道路の「距離別料金」の導入に向けて、社会実験を実施します。本社会実験は、日曜・祝日を対象に利用距離に応じた割引料金を設定することによる首都高速道路ならびに一般道路の利用状況への効果・影響等を把握するとともに、皆様からのご意見を頂くことを目的としています。

<http://www.shutoko.jp/company/press/h19/070803-1/index.html>

●集配車両にて各種バイオ燃料の活用を開始【佐川急便】

佐川急便では、集配車両から排出される二酸化炭素(CO2)削減を目的に、天然ガス自動車による「バイオ天然ガス」の試験活用を実施します。また、貨物軽自動車(ガソリン車)での「バイオガソリン」の活用も開始します。

<http://www.sg-hldgs.co.jp/news/2007/news20070723-2.html>

●「宅配便エコポイント制度」の実施に向けた実証実験に参加【佐川急便】

佐川急便では、このたび経済産業省・国土交通省共管の「グリーン物流パートナーシップソフト支援事業」の一つとして、株式会社富士通総研が提案する宅配便エコポイント制度のフイージビリティ・スタディ(事前調査)に参加します。

<http://www.sg-hldgs.co.jp/news/2007/news20070820.html>

●「運輸・交通と環境2007年版」を発行【交通エコロジー・モビリティ財団】

交通エコロジー・モビリティ財団は、運輸・交通分野における環境問題について、基礎的なデータと、最新の対策や取り組みをわかりやすく紹介した、「運輸・交通と環境2007年版」を発行しました。

[http://www.ecomo.or.jp/traffic\\_work/unyu\\_koutuu\\_to\\_kankyou\\_2007\\_index.htm](http://www.ecomo.or.jp/traffic_work/unyu_koutuu_to_kankyou_2007_index.htm)

---

#### 4. イベント情報

●2007 年夏季大会 —GIA ダイアログ—

日時:2007 年 8 月 27 日(月)、28 日(火) 9:30~17:30

場所:都市センターホテル

主催:社団法人自動車技術会

<http://www.jsae.or.jp/2007gia/>

●平成 19 年度「社会人のための ITS 専門講座」

日時:2007 年 9 月 20 日(木)

場所:東京大学国際・産学協同研究センター

主催:東京大学生産技術研究所 千葉実験所

<http://www.its.iis.u-tokyo.ac.jp/jp/ev20070920/shakaijin2007.pdf>

●イノベーションによる産業競争力強化への挑戦

日時:2007年9月4日

場所:経団連会館 11F 国際会議場「ゴールデンルーム」

主催:産業競争力懇談会(COCON)

<http://cocn.jp/event/index.html>

●横浜カーフリーデー2007

日時:2007年9月22日

場所:横浜公園、日本大通り、イセザキモール6丁目

主催:横浜カーフリーデー実行委員会

<http://www.eic.or.jp/event/?act=view&serial=13066>

●地球環境大学「脱！温暖化生活」－交通編「クルマで移動はもったいない！エコ交通の秘訣」

日時:2007年9月8日(土)13:30～16:30

場所:大阪歴史博物館

主催:特定非営利活動法人地球環境と大気汚染を考える全国市民会議(CASA)

<http://www.bnet.ne.jp/casa/katudou/chikandai/chikandai15/chikandai15.htm>

---

5. その他

●交通エコロジー・モビリティ財団のシンボルマーク・イメージキャラクター募集、〆切り迫る！

交通エコロジー・モビリティ財団では、財団のシンボルマーク及びイメージキャラクターを募集中です(募集期間:6月1日から8月31日まで)。詳細は財団のホームページをご覧ください。たくさんのご応募をお待ちしています。

[http://www.ecomo.or.jp/gaiyo/gaiyo\\_symbol\\_boshu.htm](http://www.ecomo.or.jp/gaiyo/gaiyo_symbol_boshu.htm)

●記事募集中！

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。EST、または「交通と環境」に関連する取り組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。

→ E-mail:[EST@ecomor.jp](mailto:EST@ecomor.jp)(担当:市丸)

---

発行:環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局  
(交通エコロジー・モビリティ財団)

E-mail:[EST@ecomor.jp](mailto:EST@ecomor.jp)

ESTポータルサイト:<http://www.estfukyu.jp/>